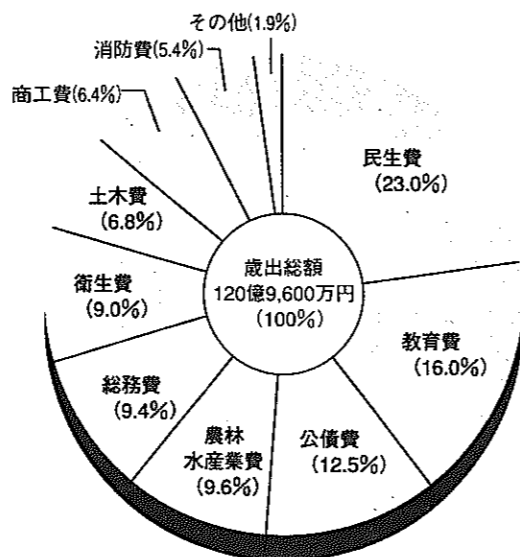


# 平成11年度一般会計 当初予算

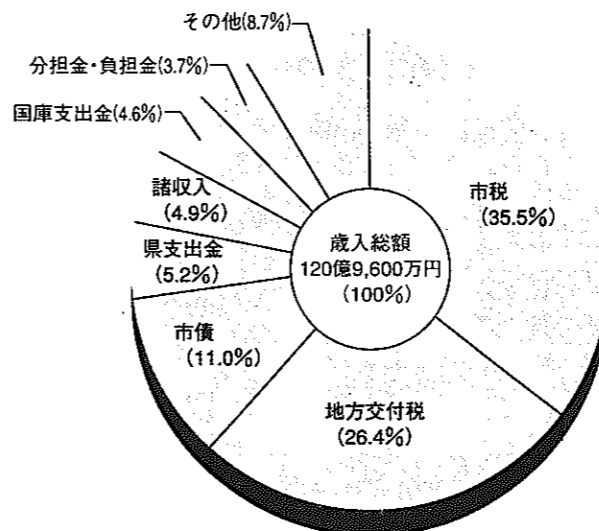
## 【歳出】

	当初予算額(千円)	増減率(%) 前年度当初比
議会費	178,115	-2.0
総務費	1,133,618	-2.5
民生費	2,787,570	8.8
衛生費	1,084,203	-2.9
労働費	39,476	8.9
農林水産業費	1,156,114	-1.7
商工費	779,971	3.2
土木費	826,068	-1.4
消防費	656,256	-0.9
教育費	1,935,591	4.1
災害復旧費	6	0.0
公債費	1,506,571	3.6
諸支出金	5,441	-3.0
予備費	7,000	16.7
歳出合計	12,096,000	2.4

## 目的別歳出予算の構成比



## 歳入予算の構成比



## 【歳入】

	当初予算額(千円)	増減率(%) 前年度当初比
市税	4,297,288	-2.1
地方譲与税	174,000	4.8
利子割交付金	28,000	21.7
地方消費税交付金	270,000	-13.7
特別地方消費税交付金	3,600	-23.4
自動車取得税交付金	72,000	-40.0
地方特例交付金	84,690	0.0
地方交付税	3,198,067	10.1
交通安全対策特別交付金	9,300	9.4
分担金・負担金	444,411	1.1
使用料・手数料	72,645	3.1
国庫支出金	550,591	-0.5
県支出金	623,248	1.0
財産収入	1,434	-91.7
寄付入金	3	0.0
繰入金	340,393	-5.6
繰越金	1	0.0
諸収入	596,429	8.2
市債	1,329,900	3.9
歳入合計	12,096,000	2.4

ち、固定資産税は農地の宅地転用による課税標準の上昇や家屋の新築増などによる増収を見込んでいるものの、市民税は、個人市民税・法人市民税とも、前年度当初に比べて大幅に減収となる見込み。法人市民税は景気の低迷や税制改正などで一・八・五パーセント、個人市民税は恒久的減税実施の影響で、九・三パーセント減となる見込みで、市民税全体では、一・九パーセント、二億三千万円程度の減収が予想されます。なお、恒久的減税の減収分は、地方特例交付金や減税補てん債などで補てんされることとなります。地方交付税は、三十一億九千八百万円を計上。減税による財源対策で、前年度当初に比べて一〇・一パーセント、金額にして二億九千三百万円と大幅に増加しました。市債は、白根学習館建設事業や地方特定道路整備事業など大型事業の実施に伴い、前年度当初に比べて三・九パーセント、金額にして五千五百円増の十三億二千九百万円を計上しました。

## ニーズの高い老人・児童福祉費が大きな伸び

次に歳出を見てみましょう。目的別歳出予算の中で、最も大きな割合を占めているのは老人や子供、障害者などの福祉に使われる民生費です。予算額は二十七億八千八百万円と、前年度当初に比べて八・八パーセント増加しました。老人ホーム入所措置費三億二百万円や在宅介護支援経費などの老人福祉費が伸びているほか、十年度に開園した「はじめ保育園」と今年度開園する「ガデリユスいぶき保育園」の私立保育園運営委託料(一億七千七百万円)など児童福祉費も大きく増加しています。

次いで構成比の大きい教育費は、前年度当初に比べて四・一パーセント増の十九億三千六百万円。このうち、白根学習館建設事業に九億一千五百万円が計上されています。三番目に多い公債費は、建設事業実施の際に市が借り入れたお金の返済金で、予算額は十五億七百万円。前年度に比べて三・六パーセント増加しました。白井小学校用地取得事業、同小学校校舎建設事業、北中学校用地取得事業などで借り入れたお金の元利償還に使われます。

歳出予算は、以下農林水産業費、総務費、衛生費、土木費、商工費、消防費、その他と続いています。これらの中で、主な予算は中小企業融資事業費(五億四千万円)、農村総合整備事業費(二億八千八百万円)、緊急生産調整推進対策事業費(七千六百万円)などです。

## 財源不足、基金取り崩しでバランス保つ厳しい状況

以上が十一年度予算の概要です。今年度は、福祉費や公債費の着実な伸びなどで、財源が二億二千五百万円ほど不足。このため、市の貯金である基金を取り崩して、歳入歳出予算の均衡を保つという状況で、今後も厳しい財政運営となる見込みです。

## その他会計の当初予算

●老人保健特別会計  
予算総額は、三十六億二千五百六十四万二千円。医療費の伸びが想定されることから、前年度に比べて七・八パーセント、金額にして二億六千三百二十一万四千円増加しました。

●国民健康保険特別会計  
予算総額は、保険給付費の増加を見込んで、前年度に比べて五・七パーセント、金額にして一億三千三百三十四万九千九百二十四円増の二十四億五千四百九十七万四千円を計上しました。

●下水道事業特別会計  
十年度から事業が本格実施になり、十一年度も引き続き幹線の整備や処理場の用地取得・設計を進めることから、前年度当初予算に比べて六八・一パーセント、金額にして四億四千九百三十三万九千九百一十一万八千七百六十四円を計上しました。

## ●ガス事業会計

経常的な収支である収益的収支では、事業収益(収入)に十一億四千四百二十五万九千九百九十九円、事業費用(支出)に十億九千七百二十五万五千円を計上しました。施設整備などの予算である資本的収支では、収入に一億四千三百四十万円、支出に三億九千二百二十四万五千円を計上。収入の不足分は、建設改良積立金などの補てん財源で補うことになっています。主な事業費は、本支管関係の整備費(二億五

千三百六十万円)、供給施設の整備費(二千四百五十万円)、供給管関係経費(二千九百万円)などです。

## ●水道事業会計

収益的収支では、事業収益(収入)に九億八千八百六十六万八千円、事業費用(支出)に九億六千七百七十二万一千円を計上。消費税分を除いた支出が収入を上回り、今年度初めて実質的な赤字収支になる見込み。厳しい財政状況になっています。

資本的収支では、収入が九億一千八百六十二万円、支出が十三億一千四百四十二万四千円、不足分は、補てん財源で補うこととなります。主な事業費は高度浄水処理施設建設費(三億二千四百二十四万円)、石綿管の入れ替え事業費(四億八千四百二十九万円)、配水管整備事業費(二億三千五百十万円)などです。

## ●白根地区消防事務組合

今年六月から、白根地区消防事務組合と白根衛生センター組合が統合するため、二カ月間の暫定予算で、人件費等経常経費九千九百三十三万円を計上しました。

## ●白根衛生センター組合

六月の白根地区消防事務組合との統合のため、衛生センター組合は、五月をもって解散します。そのため、予算額は二カ月の予算で、総額は一億一千三百六十八万円となりました。主な事業費は、平成十三年度着工予定の第三最終処分場の環境影響調査委託料(二千七百三十万円)、管内全域でのペットボトルリサイクル業務委託料(六十三万円)などです。